

現在、人口減少社会の中で生産年齢人口を中心とした人口確保が基礎自治体の急務であり、その競争は激化の一途を辿っている中で各市町村がそれぞれ自治体の魅力を創造・発信しております。

本町においては、人口減少社会に対応し、持続可能なまちづくりを進めていくための対策である「寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標2に位置付けた町の認知度の向上を図るため、一つの手段として、2019年の春にARK LEAGUE（スケートボード、BMX、ブレイクダンス）による世界大会を開催し、日本全国のみならず、世界中から競技者が本町に集い、大きくメディア等に取り上げられたところであります。

本町では、ストリートスポーツが東京2020オリンピックを契機に今後の普及や発展を予測して、いち早く施策として取り込むことで、スポーツ振興の観点から、健康づくりや地方創生事業を通じて更なる認知度の向上を図り、人口減少社会の中でも生産年齢人口の獲得に向けた一手として、当該業務を令和元年5月1日から実施してまいりました。

東京2020オリンピックにおいて、ストリートスポーツ競技における日本人選手の大活躍を契機として、低年齢の子ども達を含め、急速に競技人口が増加し、全国各地でスケートパークの建設が着手されている社会現象が見られ始めたことから、本町においても当該業務を継続することは、町民へのスポーツをするきっかけづくりと場の提供及び競技力の向上を目指す場の創出、また、町の認知度の向上及び地域経済の活性化等の相乗効果が期待できるものであります。

当業務の実績として、施設の利用者数は、令和6年度の利用者数は3,593人（令和7年2月末現在）となっています。また、トップアスリート監修の施設及び運営スタッフのレベルの充実度から日本全国のトップアスリートが本町に集い、交流人口の増加、認知度の向上にも成果が見られています。

当施設において競技を始めた町内の子ども達は、全国から集うトップアスリートの競技を間直に見て、体感し、交流することができることから、町内から世界に羽ばたく選手の創出が期待されるところであります。

本業務は、2019年に本町で開催されたARK LEAGUE世界大会（スケートボード）で世界チャンピオンとなり、東京2020オリンピックの正式競技となったスケートボード・ストリート男子に出場した白井空良選手を擁し、また、ARK LEAGUE世界大会のオーガナイザーを務め、BMXフラットランド種目において、11度の世界チャンピオンに輝いた内野洋平氏が代表を務める株式会社ARKLEAGUEに委託する。当社の業務内容はストリートスポーツ競技の施設設営、運営、イベント開催等であり経験が豊富で数々の実績があり、2019年のARK LEAGUE世界大会開催以降、内野洋平氏が中心となり、寒川町の認知度向上に努めている。

また本町在住の当施設管理人兼プロBMX選手の田圓尚人氏は2022年に横浜市で開催されたBMXの世界大会であるBMX YOKOHAMA URBAN SPORTS FESTIVAL FLATARKにて優勝、寒川東中学校在学中(当時)の森谷天斗選手は同大会2位に輝き、2023年には、本施設の設計監修者兼プロスケートボーダーで練習拠点として活動している白井空良選手がワールドスケートボードストリート世界選手権2023東京において優勝し世界ランキング1位となり、2024年には、2024パリオリンピックスケートボードストリート競技において、日本代表として、見事4位入賞を果たすなど、数々の実績を残しております。

その他、これまでも当施設利用者から多くの世界ランカーを輩出し、町内利用者との交流、指導、教室開催などの実績を重ね、唯一無二の効果をもたらしてきたことから、契約の目的達成のために必要となる条件を満たすものと判断するところであります。

よって、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に該当し、当該法人との間で随意契約を締結することを希望するものであります。